

令和5年第2回三重県議会定例会  
予算決算常任委員会 総務地域連携交通分科会 説明資料

目 次

◎議案補充説明

1 議案第31号

令和5年度三重県一般会計補正予算（第4号）【地域連携・交通部関係】  
について

2 議案第68号

令和5年度三重県一般会計補正予算（第5号）【地域連携・交通部関係】  
について . . . . . 1

◎所管事項

1 令和6年度当初予算要求状況【地域連携・交通部関係】について . . . . . 5

令和5年12月12日  
地域連携・交通部



(議案補充説明)

- 1 議案第 31 号 令和 5 年度三重県一般会計補正予算 (第 4 号)
  - 2 議案第 68 号 令和 5 年度三重県一般会計補正予算 (第 5 号)
- 【地域連携・交通部関係】について

(単位：千円)

区 分	補正前の額	今回の補正額			補正後の額
		補正予算 (第 4 号)	補正予算 (第 5 号)	合 計	
第 2 款 総務費	8,868,012	194,408	41,552	235,960	9,103,972
合 計	8,868,012	194,408	41,552	235,960	9,103,972

令和5年度三重県一般会計補正予算(第4号) 主要項目一覧表

(単位:千円)

款 項 目	事 業 目	補正前の額	補正額	補正後の 予算額	補正の概要
一般会計 (第2款)		8,868,012	194,408	9,062,420	
総務費 (第6項)		8,868,012	194,408	9,062,420	
地域振興費 (第1目)		5,641,634	54,477	5,696,111	
地域振興費	南部地域活性化事業費	2,712,045	41,859	2,753,904	
	豊かな自然の中で安心して楽しめる南部地域魅力発信事業費	54,226	△ 23,987	30,239	県内教育旅行促進支援金の所要見込額の精査等による減
	給与費				
	人件費	1,975,014	59,529	2,034,543	所要見込額の精査による増
(第12項)					
スポーツ推進費		2,328,720	136,559	2,465,279	
(第1目)					
スポーツ推進費	体育スポーツ振興基金積立金	1,248,637	42,685	1,291,322	
	体育スポーツ振興基金積立金	383,758	64,800	448,558	法人県民税超過課税の税收見込額の精査による積立金の増
	地域スポーツ推進事業費				
	レガシーを活用したみえのスポーツ支援事業費	130,000	△ 20,000	110,000	レガシーを活用したみえのスポーツ支援事業補助金の所要見込額の精査による減
(第2目)					
スポーツ施設費	スポーツ施設整備運営費	1,080,083	93,874	1,173,957	
	三重交通 G スポーツの杜 鈴鹿事業費	914,687	63,943	978,630	サッカー・ラグビー場のメインスタンドの空調設備の修繕及び原油価格・物価高騰に伴う指定管理料の再算定等に係る経費の増
	三重交通 G スポーツの杜 伊勢事業費	101,858	29,782	131,640	体育館の空調設備の修繕及び原油価格・物価高騰に伴う指定管理料の再算定等に係る経費の増

## 令和5年度三重県一般会計補正予算(第4号)債務負担行為一覧表

(単位：千円)

事 項	期 間	限度額
大仏山地域散策路等維持管理に係る契約	令和5年度～令和6年度	9,342
大仏山地域散策路等賠償責任保険に係る契約	令和5年度～令和6年度	6
住民基本台帳ネットワークシステム県内ネットワーク監視及び保守委託に係る契約	令和5年度～令和6年度	29,042
住民基本台帳ネットワークシステム都道府県サーバ集約センター運用監視等委託に係る契約	令和5年度～令和6年度	12,140
市町村分普通交付税等算定事務の電算処理委託に係る契約	令和5年度～令和6年度	1,954
自動体外式除細動器(AED)の貸借に係る契約 (県営スポーツ施設分)	令和5年度～令和10年度	6,600

## 令和5年度三重県一般会計補正予算(第5号) 主要項目一覧表

(単位:千円)

款 項 目	事 業 目	補正前の額	補正額	補正後の 予算額	補正の概要
一般会計 (第2款)		9,062,420	41,552	9,103,972	
総務費 (第6項)		9,062,420	41,552	9,103,972	
地域振興費 (第1目)		5,696,111	41,115	5,737,226	
地域振興費	給与費	2,753,904	40,604	2,794,508	
	人件費	2,034,543	27,688	2,062,231	人事委員会勧告に基づく給与改定による増
	地域連携費				
	地域連携諸費	34,860	5,042	39,902	人事委員会勧告に基づく給与改定に伴う会計年度任用職員の報酬及び期末手当の支給月数の改定による増
	地方連絡調整費				
	地方連絡調整費	54,365	7,473	61,838	人事委員会勧告に基づく給与改定に伴う会計年度任用職員の報酬及び期末手当の支給月数の改定による増

(所管事項)

# 1 令和6年度当初予算要求状況【地域連携・交通部関係】について

## (1) 要求額前年対比

(単位:千円、上段:事業費 下段:一般財源)

	令和5年度 当初予算額	令和6年度 当初要求額	増減額 (R6-R5)
地域連携・交通部 計	8,425,730 (6,022,478)	7,925,939 (5,522,227)	△499,791 (△500,251)
うちスポーツ推進局	2,328,720 (1,483,033)	2,258,893 (1,582,889)	△69,827 (99,856)
うち南部地域振興局	278,979 (251,621)	396,522 (311,290)	117,543 (59,669)

## (2) 施策別要求状況

(単位:千円)

施策番号	施策名	令和5年度 当初予算額	令和6年度 当初要求額	R6-R5
9-1	市町との連携による地域活性化	1,320,465	1,267,326	△53,139
9-2	移住の促進	93,633	103,598	9,965
9-3	南部地域の活性化	81,186	105,719	24,533
9-4	東紀州地域の活性化	146,381	211,828	65,447
11-2	公共交通の確保・充実	1,033,067	1,105,348	72,281
11-4	水の安定供給と土地の適正な利用	549,478	842,399	292,921
16-2	競技スポーツの推進	1,750,046	1,695,003	△55,043
16-3	地域スポーツと障がい者スポーツの推進	578,674	563,890	△14,784
	行政委員会	864,302	13,849	△850,453
	人件費	2,008,344	2,016,825	8,481
	交際費	154	154	0
地域連携・交通部 合計		8,425,730	7,925,939	△499,791

### (3)「みえ元気プラン」取組概要

## 施策9-1 市町との連携による地域活性化

(主担当部局：地域連携・交通部)

### 施策の目標

(めざす姿)

県内各地域が自立・持続可能で魅力と活力ある地域として発展できるよう、市町との連携により各地域の特性に応じた資源の活用や地域課題の解決に向けた取組が進展し、地域活性化や定住促進、地域コミュニティづくりなど地域における活力の維持につながっています。

### 1. 基本事業の取組状況

基本事業名

・令和5年度の主な取組

#### ① 市町との連携・協働による地域づくり

- ・県と市町で構成する「県と市町の地域づくり連携・協働協議会」の仕組みを活用して設置している「人口が減っても住み続けられる地域コミュニティのしくみ検討会議」において、市町担当職員と、地域の自治組織・システムの仕組みや先進事例についての勉強会を行っています。
- ・若者の力を地域コミュニティの活性化に生かすため、オンラインによるトークイベントやSNSでの定期的な交流会を通して地域づくりに関心のある若者同士がつながる交流の場づくりを行うとともに、若者が主体となった地域づくりの実践が定着していくよう、運営のアドバイスや地域とのコーディネートを行っています。
- ・国のデジタル田園都市国家構想にかかる勉強会を開催するなど、市町の地方版総合戦略の推進を支援しています。

#### ② 市町行財政運営の支援

- ・市町が基礎自治体として自主性、自立性を確保しつつ、効率的かつ効果的な行財政運営を行えるよう、市町からの相談に応じ、情報収集や助言を積極的に行うとともに、国の法改正・制度改正等があった場合には速やかな情報提供に努めています。また、人事評価結果の活用や公営企業会計の適用等をテーマに「市町と県との勉強会」を開催するなど、市町に対し適切な支援を行っています。

#### ③ 木曾岬干拓地等の利活用の推進

- ・伊勢湾岸自動車道以南の都市的土地利用計画策定に向け、土地利用の用途に関する具体的な調査を進めるとともに、大仏山地域については、散策路を適切に維持管理し利用促進に取り組んでいます。
- ・宮川の流量回復については、同時放流の試行による運用ルールの検証を通じて、粟生頭首工直下の安定的な流量確保に取り組んでいます。あわせて、宮川ダム直下から三瀬谷ダム間においては、利水者など関係者や流域市町との意見交換を継続するとともに、関係部局で検討を進め、より良い流況に向けて取り組んでいます。

#### ④ 過疎地域等における地域づくり

- ・過疎地域等において、魅力と活力ある地域づくりを推進するため、市町が行う身近な生活課題を解決するための取組や、地域の特色を生かした活性化の取組を支援するとともに、住民の主体的な地域づくりの実践に向けた課題分析を行っています。
- ・「三重県離島振興計画」に沿って、離島航路の維持・改善を図るため、離島航路運営費および新船建造に対する支援を行っています。
- ・地域おこし協力隊の将来的な定住・定着を支援するため、スキルアップを図る階層別研修会や隊員間のつながりづくりのための交流会を開催するとともに、協力隊を導入する市町に対する研修会や、募集・受入におけるミスマッチの低減に向けた支援を行っています。



2. KPI (重要業績評価指標) の状況							
KPIの項目						関連する基本事業	
令和3年度	4年度	5年度		6年度	7年度	8年度	5年度の 評価
現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	
県と市町の連携により地域づくりに成果があった取組数						①	
—	20 取組	20 取組	—	20 取組	—	20 取組	—
19 取組	20 取組	—	—	—	—	—	—
木曾岬干拓地の利活用の推進に向けた取組						③	
—	土地利用 の可能性 の調査	可能性の ある土地 利用の用 途に関する 具体的 な調査	—	都市的土 地利用の 方向性の 提示	—	都市的土 地利用計 画の策定	—
—	土地利用 の可能性 の調査	—	—	—	—	—	—
地域おこし協力隊による創業または新たな地域活性化の取組件数(累計)						④	
—	9 件	19 件	—	29 件	—	50 件	—
—	9 件	—	—	—	—	—	—

3. 令和6年度の課題と取組方向
基本事業名 ・令和6年度以降に残された課題と対応
① 市町との連携・協働による地域づくり ・住民が主体となった持続可能な地域コミュニティづくりをより多くの地域に広げるため、県と市町の連携を一層強化して、地域コミュニティの活性化に若者の力を活用するなど、地域における課題の解決に向けた取組を進め、地域・市町の実情に応じた持続可能な地域づくりを推進します。 ・引き続き、国のデジタル田園都市国家構想等をふまえて、市町の地方版総合戦略の推進を支援します。
② 市町行財政運営の支援 ・人口減少の進行に伴い、市町が持続可能な形で行政サービスを提供し続け、その水準を維持・向上していくためには、今後も安定的な行財政運営を継続的に行うことが必要です。市町が安定的な行財政運営を継続的に行うことができるよう、地方行財政制度の適正な運用に加え、行財政運営の改善につながる取組についても、必要な支援を行います。
③ 木曾岬干拓地等の利活用の推進 ・伊勢湾岸自動車道以南の都市的土地利用計画策定に向け、土地利用の方向性を提示するとともに、大仏山地域については、引き続き散策路等を適切に維持管理し利用促進に取り組みます。 ・宮川の流量回復については、同時放流の試行と合わせて運用ルールの検証を継続することで、粟生頭首工直下の安定的な流量確保に取り組みます。あわせて、宮川ダム直下から三瀬谷ダム間においては、利水者など関係者や流域市町との意見交換を継続するとともに関係部局で検討を進め、対応可能なものから順次着手することにより、より良い流況に向けて取り組みます。

#### ④ 過疎地域等における地域づくり

- ・過疎地域等において、魅力ある地域づくりを推進するため、市町が行う住民の身近な生活課題を解決するための取組や地域の特色を生かした活性化の取組を支援するなど、各種計画に基づき、地域活性化や定住促進などの取組を進めます。
- ・離島航路は、離島で生活するうえで必要不可欠な生活基盤であるとともに、観光客の離島へのアクセスとしてもなくてはならない交通手段であることから、離島航路事業者に対して支援を行い、航路の維持・改善や島民の生活基盤の安定並びに島外との交流促進等につなげます。
- ・地域おこし協力隊の将来的な定住・定着の促進に向けて、募集・受入時、任期中、退任後の各段階における課題を解消するため、定住・定着をサポートする中間支援組織の機能強化を図りながら、県と中間支援組織が両輪となって支援を行う体制を構築します。

## 4. 主な事業

### 《（１）市町との連携・協働による地域づくり》

#### ①持続可能な地域コミュニティづくり推進事業

（第2款 総務費 第6項 地域振興費 1 地域振興費）

予算額：(R5) 2,954千円 → (R6) 2,872千円

事業概要：「県と市町の地域づくり連携・協働協議会」の仕組みを活用し、住民が主体となった地域のコミュニティづくりがより多くの地域に広がるよう取り組むとともに、将来の担い手となる若者を育てるため、地域づくり団体等において地域活動を体験する機会を提供し、若者が地域づくりの経験を積む取組を進めます。

### 《（２）市町行財政運営の支援》

#### ①市町振興事務費

（第2款 総務費 第6項 地域振興費 2 市町振興費）

予算額：(R5) 6,719千円 → (R6) 5,971千円

事業概要：市町が今後も安定的な行財政運営を継続的に行うことができるよう、地方自治制度、地方公務員制度、地方財政制度の適正な運用に加え、公共施設等の適正管理の推進など、行財政運営の改善につながる取組についても必要な支援を行います。

### 《（３）木曾岬干拓地等の利活用の推進》

#### ①木曾岬干拓地整備事業

（第2款 総務費 第6項 地域振興費 1 地域振興費）

予算額：(R5) 231,840千円 → (R6) 130,657千円

事業概要：伊勢湾岸自動車道以南の都市的土地利用の方向性を提示するために調査を実施するとともに、道路等の基盤整備に向けて関係者との調整を進めます。

## ②(一部新)特定振興地域推進事業

(第2款 総務費 第6項 地域振興費 1 地域振興費)

予算額:(R5) 12,033千円 → (R6) 30,573千円

事業概要:大仏山地域に整備した散策路等を適切に維持管理し利用促進等に取り組みます。また、宮川の流量回復については、宮川ダム直下から三瀬谷ダム間において、関係者から要望がある藻類の繁茂などの河川環境について調査を行うとともに、関係者等との意見交換を継続しながら、より良い流況に向けて取り組みます。

## ③奥伊勢湖環境保全対策協議会負担金

(第2款 総務費 第6項 地域振興費 1 地域振興費)

予算額:(R5) 5,000千円 → (R6) 5,000千円

事業概要:奥伊勢湖環境保全対策協議会に参画し、奥伊勢湖の豊かな自然環境を守るための活動を支援します。

## ≪(4) 過疎地域等における地域づくり≫

### ①(一部新)地域活性化支援事業

(第2款 総務費 第6項 地域振興費 1 地域振興費)

予算額:(R5) 3,477千円 → (R6) 3,281千円

事業概要:過疎地域等の市町が実施する住民の身近な生活課題を解決するための取組や地域活性化のための取組に対し補助金を交付します。また、過疎地域等において、市町職員や集落支援員が住民主体の持続可能な地域づくりの手法を学ぶ研修や、地域課題解決に向けたアドバイザー派遣を実施します。

### ②離島航路船舶新造事業補助金

(第2款 総務費 第6項 地域振興費 1 地域振興費)

予算額:(R5) 16,500千円 → (R6) 38,500千円

事業概要:離島住民の生活基盤の安定化と離島の自立的発展を促すため、離島航路事業者に対し、新船建造費の一部を補助し離島航路の維持確保を図ります。

### ③(一部新)地域おこし協力隊サポート事業

(第2款 総務費 第6項 地域振興費 1 地域振興費)

予算額:(R5) 1,415千円 → (R6) 8,338千円

事業概要:地域づくり活動を担う人材の育成を図るため、隊員や市町担当者向けの研修を実施します。また、協力隊のOB、OGによる中間支援組織が、「募集・受入時」、「任期中」、「退任後」のそれぞれの段階で隊員や市町をサポートできるよう、市町の伴走支援や隊員間のネットワークづくり事業を通じた支援、隊員の定住・定着に向けた相談員の育成に取り組みます。

## 施策9-2 移住の促進

(主担当部局：地域連携・交通部)

### 施策の目標

(めざす姿)

移住を考える人が一人でも多く三重県に移住し、安心して暮らし続けられるよう、人口流入の促進に向けた移住の取組が進んでいます。また、地域の活力向上につながるよう、移住された人と地域の人びととの交流が進んでいます。

### 1. 基本事業の取組状況

基本事業名

・令和5年度の主な取組

① きめ細かな相談対応や情報発信と持続可能な地域づくりにつながる移住の促進

- ・「ええとこやんか三重 移住相談センター」を中心に、オンラインも積極的に活用しながら、きめ細かな相談対応を行うとともに、移住交流ポータルサイトや県が持つ広報番組等を活用した県内全市町の移住関連情報の発信を行っています。
- ・関西圏・中京圏からのさらなる移住者増加に向け、マスメディア等を活用した三重の暮らしの魅力発信や、移住希望者に訴求効果が高いテーマによる県独自の移住フェアを実施しています。
- ・移住希望者が移住前から県内地域の情報を気軽に収集したり、地域の方々と継続的に交流できるよう、Facebook グループ「日々三重」を9月から開始しています。今後、県外のグループ参加者と県内地域の方々との交流会を実施し、継続的なつながりを創出していきます。
- ・人口還流という視点から、県にゆかりの方々等を対象に、8月に三重の魅力伝える講座、9月に松阪市をフィールドに魅力的な地域づくりに取り組んでいるの方々との交流会を実施し、三重の地域の魅力を再発見していただきました。

② 移住者を受け入れる態勢の充実

- ・移住者と地域をつなぐ人の育成を目的に、県内各地域のフィールドにおいて、地域のキーパーソンから移住者のサポートに役立つ知識等を学ぶ「移住者と地域をつなぐ人づくり講座」(全6回)を9月から実施しています。
- ・市町や庁内関係部局との会議や研修会を実施し、県と市町の連携を深め、移住促進に向けた課題などの情報共有を行っています。
- ・東京圏からの移住を促進するため、移住した人を対象に移住支援金を給付する移住支援事業の活用に向け、関係部局や市町と連携して情報共有や制度の周知等を行っています。

### 2. KPI (重要業績評価指標) の状況

KPIの項目							関連する基本事業	
令和3年度	4年度	5年度		6年度	7年度	8年度	5年度 の評価	
現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値		
県および市町の施策を利用した県外からの移住者数(累計)							①	
—	3,031人	3,632人	—	4,263人	—	5,615人	—	
2,460人	3,037人	—	—	—	—	—	—	
移住相談件数							①	
—	1,314件	1,334件	—	1,354件	—	1,434件	—	
1,294件	1,499件	—	—	—	—	—	—	

移住者の受入れと地域づくりに取り組む人材の育成人数(累計)						②	
—	5人	10人	—	15人	—	25人	—
0人	7人	—	—	—	—	—	—

### 3. 令和6年度の課題と取組方向

#### 基本事業名

・令和6年度以降に残された課題と対応

#### ① きめ細かな相談対応や情報発信と持続可能な地域づくりにつながる移住の促進

- ・移住者のニーズに沿った効果的できめ細かな相談対応が必要であることから、新たな層をターゲットとした相談会やセミナーなど、相談機会の充実を図ります。
- ・県として移住に必要な情報を発信する機会を充実させるため、企業と連携した暮らしの魅力PRや、関西圏・中京圏における県独自の移住フェアの開催、マスメディアの活用によるターゲットに応じた情報発信を市町と連携して実施するとともに、移住交流ポータルサイトの機能向上を図ります。
- ・進学や就職を機に、県を離れた方に向けた地域情報などを発信する場が限られていることから、Facebookグループ「日々三重」でつながった、県ゆかりの方々との交流を促進します。

#### ② 移住者を受け入れる態勢の充実

- ・移住者が安心して暮らし続けられるよう、引き続き、移住者と地域をつなぐ人材を育成していくことで、移住希望者の不安軽減や、地域の受入態勢の充実を図ります。
- ・県と市町の連携や市町同士の横のつながりの強化に向けて、引き続き、市町や庁内関係部局との会議および研修会を通じて、移住促進に向けた課題や効果的な手法を共有します。
- ・東京圏からの移住を促進する移住支援事業について、テレワーク実施者が対象となるなど要件が緩和され、本県でも活用が増えているものの、依然として全国的に活用が進んでいないため、さらなる活用に向けて、引き続き、制度周知や要件緩和について国へ要望します。

### 4. 主な事業

《（１）きめ細かな相談対応や情報発信と持続可能な地域づくりにつながる移住の促進》

#### ①(一部新)ええとこやんか三重移住促進事業

(第2款 総務費 第6項 地域振興費 1 地域振興費)

予算額:(R5) 64,395千円 → (R6) 74,578千円

事業概要:引き続き、「ええとこやんか三重 移住相談センター」を中心にきめ細かな相談対応を行います。また、関西圏・中京圏での県独自フェアの開催や全国フェアへの出展等を行うとともに、移住交流ポータルサイトの機能向上やマスメディアの活用など、市町や企業・団体と連携しながら情報発信を強化します。加えて、Facebookグループ「日々三重」を通じて、県内地域の魅力や暮らしやすさなどを積極的に情報発信するとともに、地域の方々と直接つながりが持てるよう交流会を実施し、移住につなげます。

《（２）移住者を受け入れる態勢の充実》

#### ①移住者を受け入れる態勢の充実事業

(第2款 総務費 第6項 地域振興費 1 地域振興費)

予算額:(R5) 29,238千円 → (R6) 29,020千円

事業概要:移住希望者の不安軽減や県内定着を図るため、「移住者と地域をつなぐ人づくり講座」を実施し、両者をつなぐ人材を育成するとともに、情報発信のあり方など移住促進に向けた課題や効果的な手法について市町と共有し、受入れ側の態勢充実に取り組みます。また、東京23区在住者等の地方への移住を後押しする移住支援事業について、引き続き、市町と連携し実施するとともに、移住元要件の緩和等について国へ要望します。

# 施策9-3 南部地域の活性化

(主担当部局：地域連携・交通部南部地域振興局)

## 施策の目標

(めざす姿)

南部地域に幸福感を持っていきいきと暮らす人びとが増え、地域外の人びとが南部地域に一層の魅力を感じ、地域の外からさらに活力が注入される好循環が続くよう、若者の人口流出をくい止め、定着に向けた働く場の確保や生活サービスの維持・確保など安心して暮らし続けることのできる地域づくりが進むとともに、南部地域への交流人口や関係人口が拡大し、さらにはこれらの人びとと地域との関係が深まっています。

## 1. 基本事業の取組状況

基本事業名

・令和5年度の主な取組

### ① 豊かに暮らし続けられる南部地域づくり

- ・南部地域においては、若者世代の人口流出が大きな課題であることから、南部地域活性化基金を活用し、空き家バンク機能の強化・連携や第一次産業をきっかけとした関係人口の創出など、複数市町が連携した若者の定住促進に向けた取組等を支援しています。
- ・南部地域外に進学・就職した若者を対象に、南部地域の特徴ある企業の見学やいきいきと暮らす方々との交流、自然や文化の体験を通して、南部地域で働くことや暮らすことの魅力を体感してもらうツアーを実施しています。

### ② 地域住民のチャレンジによる地域の活力向上

- ・若者の地域への愛着形成を促進するとともに、出身者を中心として地域づくりに参画する関係人口を創出していく必要があることから、地域を離れた若者が、地域住民等との交流を深めながら、地域課題解決のためのフィールドワークを行い、課題の分析とその解決に向けて取り組むことで、地域とのつながりを深め、新たな活動が生まれてくるような環境づくりを進めています。
- ・南部地域にあるさまざまな地域資源が地域の魅力として十分に活用されていない現状があるため、地域資源のファンやマニアと地域の人びとが連携し、観光資源としての磨き上げを通じた関係人口の創出や地域活力の向上に取り組んでいます。

## 2. KPI (重要業績評価指標) の状況

KPIの項目							関連する基本事業	
令和3年度	4年度	5年度		6年度	7年度	8年度	5年度の評価	
現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値		
南部地域における若者の定住率							①	
—	55.9%	55.9%	—	55.9%	—	55.9%	—	
55.9%	54.8%	—	—	—	—	—	—	
地域住民等が主体となった地域への誇りにつながる新たな活動件数(累計)							②	
—	13件	39件	—	65件	—	150件	—	
—	18件	—	—	—	—	—	—	

### 3. 令和6年度の課題と取組方向

#### 基本事業名

・令和6年度以降に残された課題と対応

#### ① 豊かに暮らし続けられる南部地域づくり

- ・南部地域においては、若者世代の人口流出が大きな課題であることから、若者が「住み続けたい」と思える地域づくりや地域への愛着・誇りの醸成に取り組みます。また、若者をはじめ人びとが「戻りたい」「移住したい」と感じる地域づくり、地域との関係性の継続に取り組みます。
- ・第一次産業や観光業といった地域産業の活力向上のため、南部地域における農林水産業の振興や、南部地域特有の資源を生かした観光関連産業の振興に取り組みます。また、兼業や副業を組み合わせた多様で柔軟な働き方・働く場の創出に向けて検討します。
- ・南部地域の市町、有識者、県で構成する南部地域活性化推進協議会において、各種取組にかかる情報共有や課題解決に向けた検討・協議等を行うとともに、南部地域活性化基金により複数市町が連携した取組を支援します。

#### ② 地域住民のチャレンジによる地域の活力向上

- ・地域コミュニティ活動の担い手不足が課題であることから、南部地域に賑わいをもたらす「人の流れ」の創出や、南部地域を内外から支える人づくり(地域づくり人材のネットワーク化と関係人口の深化・拡大)に取り組みます。

### 4. 主な事業

《(1) 豊かに暮らし続けられる南部地域づくり》

#### ①(一部新)南部地域活性化基金積立金

(第2款 総務費 第6項 地域振興費 1 地域振興費)

予算額:(R5) 2千円 → (R6) 45,201千円

事業概要:南部地域の振興に向け、複数市町が連携して取り組む事業を支援するとともに、関係部局と連携した若者の定着等に資する事業を実施するため、基金に積み立てを行います。

#### ②南部地域活性化基金支援事業

(第2款 総務費 第6項 地域振興費 1 地域振興費)

予算額:(R5) 9,800千円 → (R6) 11,330千円

事業概要:南部地域活性化基金を活用し、南部地域における働く場の確保や定住促進に資する事業、および南部地域の活性化に寄与する事業に連携して取り組む市町を支援します。

#### ③南部地域の企業・魅力体感事業

(第2款 総務費 第6項 地域振興費 1 地域振興費)

予算額:(R5) 4,107千円 → (R6) 4,107千円

事業概要:南部地域外に進学・就職した若者を対象に、南部地域の企業の見学や地域で活躍している方々との交流のほか、自然や文化の体験を通して、南部地域での暮らしの魅力を体感してもらえるバスツアーを実施します。

④(新)輝くまちのロールモデル発信事業

(第2款 総務費 第6項 地域振興費 1 地域振興費)

予算額:(R5) - 千円 → (R6) 9,822千円

事業概要:南部地域の小中学生、高校生が連携して地域で活躍している方々の紹介動画を作成し、都市部で開催する南部地域を知るセミナーで活用するとともに、南部地域でのワークショップも開催し、県外の方が地域で活躍している方々と交流する機会を作ります。

⑤(新)南部地域における持続可能な第一次産業をめざして事業

(第2款 総務費 第6項 地域振興費 1 地域振興費)

予算額:(R5) - 千円 → (R6) 14,320千円

事業概要:南部地域における副業のあり方を確立するため、第一次産業のワンデイワークの仕組みづくりに取り組むとともに、副業としての農林水産業を促進している先進地調査を実施します。また、飲食店の料理人、百貨店のバイヤー等に向けて、南部地域の特産品プロモーションを行います。

⑥(新)南部の地域づくり連携推進事業

(第2款 総務費 第6項 地域振興費 1 地域振興費)

予算額:(R5) - 千円 → (R6) 2,250千円

事業概要:南部地域振興プランにおけるめざす姿の実現に向けて、地域の活性化に資する取組を関係部局と連携して進めます。

≪ (2) 地域住民のチャレンジによる地域の活力向上 ≫

①地域づくり人材支援事業

(第2款 総務費 第6項 地域振興費 1 地域振興費)

予算額:(R5) 2,054千円 → (R6) 3,000千円

事業概要:地元出身の大学生を中心に、地域の賑わいの創出等をテーマにしたフィールドワークを実施し、住民や地域おこし協力隊等との交流を深めながら、地域課題の解決に向けた提案およびその具体化に取り組みます。

②ファンとともに南部地域の観光資源PR事業

(第2款 総務費 第6項 地域振興費 1 地域振興費)

予算額:(R5) 6,696千円 → (R6) 3,282千円

事業概要:地域の人びとが、ファン・マニアとともに南部地域の特色ある地域資源を観光コンテンツとして磨き上げるプロセスを通して、地域に対する愛着醸成を図るとともに地域の活性化に取り組む人びとを育成します。

③(新)多様な人材が集う「賑わい」の維持・創出事業

(第2款 総務費 第6項 地域振興費 1 地域振興費)

予算額:(R5) - 千円 → (R6) 10,959千円

事業概要:企業向けに、地域の祭や農作業等の体験ツアー等を実施し、地域の魅力や課題を知る機会を提供するとともに、地域で活躍する人々が取組発表や意見交換を行う連続講座を開催し、地域や世代の垣根を超えたネットワークを形成します。



# 施策9-4 東紀州地域の活性化

(主担当部局：地域連携・交通部南部地域振興局)

## 施策の目標

(めざす姿)

地域の活力を向上させるため、多くの人びとが熊野古道伊勢路を訪れ、豊かな自然や食など、東紀州地域ならではの資源に魅力を感じ、地域に滞在しながらさまざまなスポットで観光や体験型プログラム、食、地域産品などを楽しむための仕掛けづくりが進んでいます。

また、世界遺産の文化的価値が守られ、来訪者にも評価されるよう、熊野古道伊勢路の保全活動へ幅広い主体が参画し、十分な活動資金が確保された持続可能な体制が構築されています。

## 1. 基本事業の取組状況

基本事業名

令和5年度の実績

### ① 地域資源を生かした持続可能な地域社会づくり

- 東紀州地域の活性化を図るため、市町や一般社団法人東紀州地域振興公社と連携を図りながら、観光振興、産業振興等の面から総合的な地域づくりに取り組んでいます。
- 東紀州産業活性化事業推進協議会を支援し、商品、サービスの改良や新規販路開拓に取り組んでいます。
- 東紀州地域観光DMO事業推進協議会に参画し、東紀州地域の宿泊施設等における受入体制の充実や、地域における体験型コンテンツの発掘・造成支援等を行い、誘客促進に取り組んでいます。

### ② 熊野古道の未来への継承と活用

- 熊野古道伊勢路の世界遺産登録20周年に向けて、伊勢路全域で統一感のある案内標識の整備を支援するとともに、山歩きアプリの活用など伊勢路を安全に楽しめる環境の整備や、伊勢路踏破ウォークの実施など、伊勢路の「歩き旅」のブランディングを図っています。
- 熊野古道サポーターズクラブを運営し、伊勢路ファンの募集、熊野古道の魅力発信、保全体験の参加機会の提供等を行っています。また、熊野古道の保全について社会の関心を高めるため熊野古道一斉クリーンアップ作戦を実施しています。
- 熊野古道伊勢路に関するさまざまな活動をしている関係者が一堂に会する場である熊野古道協働会議の枠組みを通じて、保全団体や民間企業、市町と連携し、持続可能な保全体制の構築に向けて検討を進めています。

## 2. KPI (重要業績評価指標) の状況

KPIの項目						関連する基本事業		
令和3年度	4年度	5年度		6年度	7年度	8年度	5年度 の評価	
現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値		
東紀州地域における観光消費額の伸び率							①	
—	113	120	—	127	—	147以上	—	
100 (2年)	98	—	—	—	—	—	—	
商談会等における新たな成約件数(累計)							①	
—	40件	60件	—	80件	—	120件	—	
20件	45件	—	—	—	—	—	—	

熊野古道伊勢路の来訪者数						②	
—	270 千人	320 千人	—	390 千人	—	440 千人	—
246 千人	291 千人	—	—	—	—	—	—
熊野古道伊勢路の保全活動に参加した新たな担い手の人数(累計)						②	
—	300 人	500 人	—	900 人	—	2,000 人	—
100 人	287 人	—	—	—	—	—	—

### 3. 令和6年度の課題と取組方向

#### 基本事業名

・令和6年度以降に残された課題と対応

#### ① 地域資源を生かした持続可能な地域社会づくり

- ・登録 DMO である一般社団法人東紀州地域振興公社が、今後、東紀州地域の観光地域づくりの舵取り役として、さらに力を発揮できるよう、運営基盤の確立に向けた取組を支援します。
- ・地域の農林水産物を生かした商品のブランド化に向けて、東紀州地域の特産品の魅力をさらに磨き上げ、認知度向上につなげられるよう、第一次産業などの事業者が商機拡大の機会を生かして行う商品やサービスの改良、販路拡大の取組を支援します。

#### ② 熊野古道の未来への継承と活用

- ・熊野古道伊勢路の世界遺産登録 20 周年記念イベント事業や、奈良県、和歌山県と連携したプロモーションなどを通じて、熊野古道伊勢路の「歩き旅」を象徴的なイメージとするブランディングを進め、伊勢路の魅力のさらなる向上を図ります。
- ・「伊勢路アルベルグ協議会」参加施設の外国人対応力強化、宿泊案内機能等の充実を図るため、受入体制の構築や情報発信等の取組を支援します。
- ・熊野古道の保全については、地域の保全団体が熊野古道サポーターズクラブと連携して取り組んでいますが、保全団体会員の高齢化等による活動の担い手不足、参加者の固定化が課題となっているため、熊野古道協働会議における議論をふまえ、持続可能な保全体制の構築に向けた取組を進めます。

### 4. 主な事業

《 (1) 地域資源を生かした持続可能な地域社会づくり 》

#### ① 東紀州地域振興推進事業

(第2款 総務費 第6項 地域振興費 1 地域振興費)

予算額:(R5) 10,255 千円 → (R6) 10,255 千円

事業概要:東紀州地域の活性化を図るため、市町をはじめとする関係団体と連携を図りながら、観光振興、産業振興等の面から総合的に地域づくりを推進する一般社団法人東紀州地域振興公社の取組に対し支援を行います。

#### ② 選ばれる東紀州地域を目指して産業活性化支援事業

(第2款 総務費 第6項 地域振興費 1 地域振興費)

予算額:(R5) 11,259 千円 → (R6) 11,259 千円

事業概要:地域の資源を生かした商品のブランド力強化や高付加価値化、販路拡大、観光サービスのブラッシュアップ、観光産業ツアー等の取組や、地域産業の活性化を促進するための基盤づくり等の取組を支援します。

《(2) 熊野古道の未来への継承と活用》

①(新)熊野古道世界遺産登録 20 周年事業

(第2款 総務費 第6項 地域振興費 1 地域振興費)

予算額:(R5) ー 千円 → (R6) 40,600 千円

事業概要:熊野古道世界遺産登録 20 周年という節目の年に、市町、関係団体と連携し、伊勢路のイベントとプロモーションを切れ目なく組み合わせて、「歩き旅」ブランディングの推進を図ります。また、奈良県・和歌山県等との広域連携による誘客促進に取り組みます。

②(新)熊野古道伊勢路受入インフラ整備事業

(第2款 総務費 第6項 地域振興費 1 地域振興費)

予算額:(R5) ー 千円 → (R6) 41,500 千円

事業概要:熊野古道伊勢路周辺の宿泊施設の外国人対応力強化等の受入環境を整備し、宿泊施設、飲食施設等を一元的に案内する Web サイトを構築するとともに、沿道の環境整備を合わせて実施し、古道を安全・快適に歩ける環境を整備します。

③熊野古道活用促進事業

(第2款 総務費 第6項 地域振興費 1 地域振興費)

予算額:(R5) 14,337 千円 → (R6) 22,781 千円

事業概要:熊野古道伊勢路の世界遺産登録 20 周年において、「歩き旅」のブランディングを推進するため、伊勢路を踏破するイベントを開催するとともに、伊勢路の価値や魅力の国内外への発信による誘客、スペイン・バスク自治州との交流促進を図ります。併せて、古道を安心して歩けるよう、熊野古道サポーターズクラブの活動や熊野古道一斉クリーンアップ作戦にも取り組みます。

④東紀州地域集客交流推進事業

(第2款 総務費 第6項 地域振興費 1 地域振興費)

予算額:(R5) 73,687 千円 → (R6) 78,080 千円

事業概要:熊野古道センターにおいて、熊野古道をはじめとした東紀州地域の歴史・文化、自然等を地域内外に発信するとともに、集客交流を促進します。また、常設展示のリニューアルに向けて、設計を行います。

# 施策 11-2 公共交通の確保・充実

(主担当部局：地域連携・交通部)

## 施策の目標

(めざす姿)

持続可能な公共交通の確保・充実に向けて、県内各市町で地域公共交通計画の策定が進み、地域の実情に応じた交通に関する方向性が整理され、多様な輸送資源を活用することなどにより、新たな移動手手段の確保が進んでいます。

また、リニア三重県駅の設置による効果を県内全域に波及させるよう、リニア三重県駅と地域を結ぶ県内広域交通網の整備促進について、関係機関との検討が進むとともに、リニア三重県駅を核とした地域づくり等、将来像についての方向性をとりまとめています。

## 1. 基本事業の取組状況

基本事業名

・令和5年度の主な取組

### ① 地域の輸送資源の総動員による持続可能な移動手手段の確保

- ・既存の公共交通や交通不便地域等における移動手手段の確保・充実に向けた取組の方向性を示す「三重県地域公共交通計画(仮称)」の策定を進めています。
- ・市町が設置する地域公共交通会議に参画するとともに、交通不便地域等の解消に向けた市町における新たな移動手手段の確保の取組をモデル事業として支援しています。
- ・複数市町をまたぐ地域間幹線バスの運行や地域鉄道の施設整備などを行う事業者に対する支援を実施するとともに、燃料費高騰などの影響を受け厳しい状況にある交通事業者に対して支援を行っています。
- ・沿線市町や関係府県と連携した協議会等での活動を通じ、在来線や地域鉄道の利用促進、国や事業者への要望活動に取り組むとともに、JR関西本線(亀山～加茂間)の活性化に向け、沿線市やJR西日本と連携して取り組んでいます。

### ② リニア開業時の県内広域交通網の確保・充実に向けた取組の推進

- ・県内ルート・駅位置の早期確定に向け、JR東海や国土交通省へ要望を行うとともに、名古屋・大阪間の環境影響評価の円滑な実施に向け、進捗状況の確認や環境影響評価手続きの参考となる情報を提供するなど、JR東海との継続的な意見交換に取り組んでいます。
- ・リニアとともに本県が歩む将来のイメージを県民の皆さんと共有するため、「三重県リニア基本戦略(仮称)」の策定に取り組んでいます。

## 2. KPI (重要業績評価指標) の状況

KPIの項目						関連する基本事業	
令和3年度	4年度	5年度		6年度	7年度	8年度	5年度の 評価
現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	
地域公共交通の利用促進に向けて新たに取り組んだ件数(累計)						①	
—	2件	3件	—	4件	—	6件	—
—	2件	—	—	—	—	—	—
新たな移動手手段の確保に向けて取り組んだ件数(累計)						①	
—	2件	4件	—	6件	—	10件	—
—	3件	—	—	—	—	—	—

リニア効果の県内波及に向けた取組						②	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>駅候補地の評価、検討</li> <li>県同盟会としての駅位置選定、JRへの要望</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境影響評価開始</li> <li>駅位置についての市町との合意形成</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>みえリニア戦略プラン(仮称)の検討</li> </ul>	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>リニアを活用した将来像についての方向性の取りまとめ</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>県内駅候補市町の決定</li> <li>亀山市からの駅候補地域の提案</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>評価結果を県同盟会へ報告</li> <li>県同盟会での決議を受け、JR東海へ駅候補地の要望を実施</li> </ul>	—	—	—	—	—	—

### 3. 令和6年度の課題と取組方向

#### 基本事業名

・令和6年度以降に残された課題と対応

#### ① 地域の輸送資源の総動員による持続可能な移動手段の確保

- ・「三重県地域公共交通計画(仮称)」に基づき、地域内交通の維持・確保や広域交通ネットワークの構築・活性化、地域公共交通を支え、発展させる環境整備に取り組めます。
- ・交通不便地域等における高齢者や若者等の移動手段の確保が喫緊の課題であることから、地域のニーズを的確に把握し、市町における移動サービスの導入・定着や自動運転の実証運行の取組を支援します。
- ・利用者の減少等により厳しい状況にある交通事業者を支援するため、地域間幹線バスについて、国と協調して運行経費等に対する支援を行うとともに、地域鉄道等が安全確保のために実施する設備整備に対し、国や沿線市町と協調して支援を行います。
- ・在来線や地域鉄道の維持・活性化を図るため、関係機関が連携した協議会等の活動を通じて利用促進に取り組むとともに、国や事業者への要望活動を行います。JR関西本線(亀山～加茂間)の活性化に向けて県および亀山市、伊賀市、JR西日本で構成する「関西本線活性化利用促進三重県会議」において、沿線府県やJR東海とも連携して取り組みます。

#### ② リニア開業時の県内広域交通網の確保・充実に向けた取組の推進

- ・リニア中央新幹線建設促進三重県期成同盟会等の活動を通じ、ルート・駅位置の早期確定や一日も早い全線開業に向けた取組を積極的に進めるとともに、「三重県リニア基本戦略(仮称)」や新たなツールを活用しながら、リニアに対する県民の皆さんの一層の気運醸成に取り組めます。
- ・リニア中央新幹線の開業後の姿を展望し、開業効果を県全体へ波及・発展させていく「三重県リニア基本戦略(仮称)」が示す「めざす三重の姿」の実現に向け、新たに「みえリニア戦略プラン(仮称)」の策定に着手し、具体的な施策や事業への展開を図ります。

## 4. 主な事業

≪(1) 地域の輸送資源の総動員による持続可能な移動手段の確保≫

### ①(一部新)地域における移動手段の確保に向けた総合対策事業

(第2款 総務費 第6項 地域振興費 4 交通政策費)

予算額:(R5) 29,500 千円 → (R6) 129,900 千円

事業概要:交通不便地域等における高齢者や若者の移動手段を確保するため、地域における公共交通の実情やニーズの把握に努めるとともに、市町や事業者によるデマンド交通、自動運転の導入など移動手段の確保に向けた実証運行や定着を図る取組等を支援します。

### ②地方バス路線維持確保事業

(第2款 総務費 第6項 地域振興費 4 交通政策費)

予算額:(R5) 345,000千円 → (R6) 345,000千円

事業概要:地域間幹線バスの運行経費等に国と協調して支援するとともに、県の地域公共交通協議会、市町の地域公共交通会議等において、地域公共交通の活性化に取り組みます。

### ③鉄道利便性・安全性確保等対策事業

(第2款 総務費 第6項 地域振興費 4 交通政策費)

予算額:(R5) 100,082 千円 → (R6) 151,257 千円

事業概要:鉄道事業者が行う安全性・利便性の向上を図るための施設整備や耐震対策について、国や沿線市町と協調して支援します。

### ④伊勢鉄道基盤強化等対策事業

(第2款 総務費 第6項 地域振興費 4 交通政策費)

予算額:(R5) 288,680 千円 → (R6) 191,018 千円

事業概要:伊勢鉄道株式会社が実施する鉄道の安全性・利便性の向上を図るための施設整備等について、国の補助金も活用して支援します。

### ⑤地域交通体系整備基金積立金

(第2款 総務費 第6項 地域振興費 4 交通政策費)

予算額:(R5) 200,037 千円 → (R6) 216,960 千円

事業概要:伊勢鉄道株式会社の施設整備に活用する「三重県地域交通体系整備基金」について、新型コロナウイルス感染症の影響により、緊急的に令和2年度から令和4年度までの経営支援にも活用していることから、その支援金額分を基金に積み直します。

⑥(一部新)鉄道活性化促進事業

(第2款 総務費 第6項 地域振興費 4 交通政策費)

予算額:(R5) 5,628 千円 → (R6) 22,940 千円

事業概要:鉄道の維持・活性化のため、沿線自治体で構成する協議会において連携して要望活動や利用促進の取組を実施します。また、JR 関西本線(亀山～加茂間)の維持・活性化のため、「関西本線活性化利用促進三重県会議」において、沿線府県やJR東海とも連携して、大都市と沿線地域を結ぶ列車の実証運行の検討など、利用促進や利便性の向上に向けて取組を進めます。

≪ (2) リニア開業時の県内広域交通網の確保・充実に向けた取組の推進 ≫

①(一部新)リニア中央新幹線関係費

(第2款 総務費 第6項 地域振興費 4 交通政策費)

予算額:(R5) 17,266 千円 → (R6) 27,841千円

事業概要:名古屋・大阪間のルート・駅位置の早期確定に向け、沿線自治体等と連携して要望活動を行うとともに、現在策定中の「三重県リニア基本戦略(仮称)」をふまえ、より具体的な施策や事業に取り組むため、「みえリニア戦略プラン(仮称)」の策定に着手します。

②航空関係費

(第2款 総務費 第6項 地域振興費 4 交通政策費)

予算額:(R5) 45,651 千円 → (R6) 19,651 千円

事業概要:中部国際空港利用促進協議会や関西国際空港全体構想促進協議会の活動を通じ、両空港の利用促進に取り組むとともに、中部国際空港の第二滑走路早期整備に向けた取組を支援します。

# 施策 11-4 水の安定供給と土地の適正な利用

(主担当部局：地域連携・交通部)

## 施策の目標

(めざす姿)

将来にわたって安定的な水源が確保され、安全で安心な水を使用できるよう市町、関係機関等と連携した供給体制が確保されています。

また、災害に備えた強靱な県土を次世代に引き継いでいくため、地籍調査などの取組が着実に進み、計画的かつ適正な土地の利用および管理が進んでいます。

## 1. 基本事業の取組状況

基本事業名

・令和5年度の主な取組

### ① 水資源の確保と水の安全・安定供給

・市町の水道施設整備については、生活基盤施設耐震化等交付金を活用して主要施設の整備や耐震化等を促進しています。(交付金事業:企業庁および12市町 21 事業)

・県内の市町水道事業者等を構成員とする県水道事業基盤強化協議会等を開催し、将来にわたり持続可能な水道事業を実現するため、「三重県水道広域化推進プラン」に基づき基盤強化につながる広域化の可能性について検討を進めています。

・県が供給する水道用水、工業用水については、「安全で安心な水道用水」と「良質な工業用水」を安定して供給するため、耐震化や老朽化対策など施設の改良や更新を計画的に推進するとともに、適切な維持管理に取り組んでいます。

### ② 適正な土地の利用および管理

・土砂災害警戒区域など優先度が高いと考えられる地区に重点を置くとともに、予算の確保に向けた国への要望活動を行っています。また、市町を対象とした研修会やヒアリング等を通じて効率的な手法のさらなる活用の働きかけや、公共事業で得られる測量成果の活用など市町や関係部局と連携して効率的・効果的な地籍調査を推進しています。

## 2. KPI (重要業績評価指標) の状況

KPIの項目						関連する基本事業		
令和3年度	4年度	5年度		6年度	7年度	8年度	5年度 の評価	
現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値		
基幹管路の耐震適合率							①	
—	42.8%	43.5%	—	44.1%	—	45.2%	—	
42.0%	42.9%	—	—	—	—	—	—	
浄水場の耐震化率							①	
—	91.8%	95.9%	—	95.9%	—	100.0%	—	
91.8%	91.8%	—	—	—	—	—	—	



新たに地籍調査の効率化に取り組んだ市町の割合						②	
—	20.0% (4市町 /20市町)	40.0% (8市町 /20市町)	—	60.0% (12市町 /20市町)	—	100.0% (20市町 /20市町)	—
—	20.0% (4市町 /20市町)	—	—	—	—	—	—

### 3. 令和6年度の課題と取組方向

#### 基本事業名

・令和6年度以降に残された課題と対応

#### ① 水資源の確保と水の安全・安定供給

- ・県内の水道事業については、基幹管路の耐震適合率は全国平均と比較して低いことから、引き続き、生活基盤施設耐震化等交付金を活用して、施設整備や耐震化等の機能強化を促進します。
- ・人口減少など社会情勢が変化する中で、将来にわたり県内水道事業者が持続可能な事業運営ができるよう、広域化等水道事業基盤強化の取組を進めます。
- ・県が供給する水道用水、工業用水を安全・安定に供給する必要があるため、引き続き、浄水場等の主要施設や管路の耐震化および電気・機械設備の老朽化対策などを実施するとともに、適切な維持管理に取り組めます。

#### ② 適正な土地の利用および管理

- ・地籍調査の令和4年度末時点における進捗率は9.9%であり、全国平均を大きく下回っています。土砂災害警戒区域など優先度が高いと考えられる地区に重点を置くとともに、予算の確保に向けた国への要望活動を行います。また、市町を対象とした研修会やヒアリング等を通じて効率的な手法のさらなる活用の働きかけや、公共事業で得られる測量成果の活用など、引き続き、市町や関係部局と連携して効率的・効果的な地籍調査を推進します。

### 4. 主な事業

#### 地域連携・交通部

#### 《(1) 水資源の確保と水の安全・安定供給》

##### ① 工業用水道事業会計出資金

(第2款 総務費 第6項 地域振興費 5 資源対策費)

予算額:(R5) 319,558千円 → (R6) 304,927千円

事業概要: 県勢振興のために確保している水源の工業用水に係る管理費等について、一般会計から工業用水道事業会計に出資します。

#### 《(2) 適正な土地の利用および管理》

##### ② 地籍調査費負担金

(第2款 総務費 第6項 地域振興費 5 資源対策費)

予算額:(R5) 176,235千円 → (R6) 484,737千円

(参考:(R5) 333,399千円 ※令和4年度2月補正含みベース)

事業概要: 土地取引の円滑化や土地資産の保全、災害復旧の迅速化等に資するため、地籍調査を実施する市町に対して、その取組を支援します。

## 環境生活部

### 《（１）水資源の確保と水の安全・安定供給》

#### ①水道事業等指導事業

（第4款 衛生費 第6項 環境保全費 3 環境指導費）

予算額：(R5) 4,709千円 → (R6) 49,673千円

事業概要：県民の皆さんに対し、安心して飲める水が安定的に供給されるよう、水道の施設整備や事業経営および施設の維持管理についての指導監督を行います。また、県内の水道事業が将来にわたり経営環境を維持していけるよう水道基盤強化の取組を促進します。

#### ②生活基盤施設耐震化等補助金

（第4款 衛生費 第6項 環境保全費 3 環境指導費）

予算額：(R5) 1,584,091千円 → (R6) 1,225,055千円

事業概要：水道事業を行う市町等に対し、国交付金を財源とした助成を行い、水道施設の耐震化や老朽化対策および水道事業の広域化の取組を支援します。

#### ③水道事業会計支出金

（第4款 衛生費 第6項 環境保全費 3 環境指導費）

予算額：(R5) 432,513千円 → (R6) 100,337千円

事業概要：水道広域化施設等に対し、一般会計から水道事業会計に出資・補助を行い、地方公営企業の経営健全化を促進し、その経営基盤の強化を図ります。

## 企業庁

### 《（１）水資源の確保と水の安全・安定供給》

#### ①水道施設改良事業

予算額：(R5) 6,827,740千円 → (R6) 7,506,797千円

事業概要：水道用水を安定的に供給するため、北中勢および南勢志摩水道用水供給事業において、耐震化や老朽化対策など施設の改良や更新等を計画的に行います。

#### ②工業用水道施設改良事業

予算額：(R5) 4,149,093千円 → (R6) 4,400,354千円

事業概要：工業用水を安定的に供給するため、北伊勢、中伊勢および松阪工業用水道事業において、耐震化や老朽化対策など施設の改良や更新等を計画的に行います。

# 施策 16-2 競技スポーツの推進

(主担当部局：地域連携・交通部スポーツ推進局)

## 施策の目標

(めざす姿)

三重とこわか国体に向け高めてきた競技力の維持・向上により、多くの三重県ゆかりの選手が、国民体育大会などの全国大会や、オリンピックやパラリンピックなどの国際大会で活躍するとともに、県を代表するシンボリックチームが国内トップリーグで活躍しています。

三重県ゆかりの選手等の活躍によって、県民の皆さんに夢や感動が届き、県民の郷土への愛着や誇りが高まることにより、スポーツを通じた地域の絆づくりが進んでいます。

## 1. 基本事業の取組状況

基本事業名

・令和5年度の主な取組

### ① 競技力の向上

・少年種別では、スポーツ体験会やタレント発掘事業の実施により、将来の競技スポーツを担う新たな選手を発掘するとともに、育成拠点となるチーム・運動部や競技団体を指定し、その強化活動を支援することにより、安定的な競技力の確保を図っています。その結果、令和5年度は、全国高等学校総合体育大会で60件、全国中学校総合体育大会で16件、合計で前年度と同じ76件入賞することができました。

・成年種別では、安定的に競技力を維持するため、今後の活躍が期待できる新たな選手の確保に取り組んでいます。また、三重とこわか国体を契機に結成されたチームについては、毎年度の達成目標を設定して進捗管理を行いつつ、強化活動を支援しています。

・国際大会や全国大会で活躍する選手を支える優れた指導者を養成する、チームみえ・コーチアカデミーセンター事業において、各年齢層の中心となる指導者(3期生)19名の指導力向上を図り、選手の年齢に応じた一貫指導体制の構築に取り組んでいます。また、安定的な指導力の確保に向け、本事業の修了者26名を対象に、コーチデベロッパー(指導者を指導する者)の養成に取り組んでいます。

### ② パラアスリートの強化

・一定の競技レベルを有し、国際大会や全国大会で活躍が期待されるパラアスリート13名を指定し、その強化活動に要する費用を支援しています。

### ③ 安全、快適なスポーツ施設の提供

・県営スポーツ施設について必要な整備・改修を行い、受入れ環境を向上させるとともに、新型コロナウイルスの影響により減少した施設利用者数の回復に取り組んでいます。

## 2. KPI (重要業績評価指標) の状況

KPIの項目						関連する基本事業	
令和3年度	4年度	5年度		6年度	7年度	8年度	5年度の 評価
現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	
国民体育大会の男女総合成績							①
—	10位以内	10位台 前半	—	10位台 前半	—	10位台 前半	—
— (中止)	12位	—	—	—	—	—	—

全国大会の入賞数							①	
—	180件	165件	—	165件	—	165件	—	
70件	195件	—	—	—	—	—	—	
パラアスリートの全国大会の入賞数							②	
—	36件	38件	—	39件	—	41件	—	
35件	33件	—	—	—	—	—	—	
県営スポーツ施設年間利用者数							③	
—	697,000人	839,000人	—	980,000人	—	1,020,000人	—	
555,035人	809,510人	—	—	—	—	—	—	

### 3. 令和6年度の課題と取組方向

#### 基本事業名

・令和6年度以降に残された課題と対応

#### ① 競技力の向上

・佐賀国スポ(国民スポーツ大会)での男女総合成績10位台前半をめざし、競技団体等と連携しつつ、これまで積み上げてきたノウハウや経験を活用して効果的に選手等を支援するとともに、就職支援によるトップアスリートの県内定着等に取り組めます。

#### ② パラアスリートの強化

・競技によっては、コーチや練習パートナーの不足により、活動拠点を県外や海外に求めざるを得ない場合があること、競技用具の機能や調整具合が勝敗を分けること、などの課題があるため、引き続き個々の選手の状況や競技の特性をふまえたきめ細かな支援に取り組めます。

#### ③ 安全、快適なスポーツ施設の提供

・県営スポーツ施設について、利用者がより安全・安心に利用できる環境を提供するため、必要な改修・修繕を行うとともに、新型コロナの影響により減少した利用者数の回復を図るため、引き続き、指定管理者と連携し、より良いサービスの提供に取り組めます。

### 4. 主な事業

《(1) 競技力の向上、(2) パラアスリートの強化》

#### ① 競技力向上対策事業

(第2款 総務費 第12項 スポーツ推進費 1 スポーツ推進費)

予算額:(R5) 519,830千円 → (R6) 513,722千円

事業概要:安定した競技力を確保し、本県ゆかりのアスリートが活躍できるよう、これまでに培ったノウハウを生かし、引き続き、競技力向上対策に取り組めます。また、一定の競技力を有するパラアスリートの強化活動を支援します。

《(1) 競技力の向上》

#### ① 国民スポーツ大会派遣事業

(第2款 総務費 第12項 スポーツ推進費 1 スポーツ推進費)

予算額:(R5) 150,133千円 → (R6) 117,623千円

事業概要:国民スポーツ大会および東海ブロック大会に、本県代表選手・監督等を派遣します。

《(3) 安全、快適なスポーツ施設の提供》

①三重交通G スポーツの杜 鈴鹿事業

(第2款 総務費 第12項 スポーツ推進費 2 スポーツ施設費)

予算額:(R5) 914,687千円 → (R6) 704,675千円

事業概要:指定管理者制度に基づいて、効率的・効果的な管理運営やサービスの充実を図るとともに、水泳場の空調熱源設備改修工事など、安全、快適に利用できる環境の整備を行います。

②三重交通G スポーツの杜 伊勢事業

(第2款 総務費 第12項 スポーツ推進費 2 スポーツ施設費)

予算額:(R5) 101,858千円 → (R6) 286,795千円

事業概要:指定管理者制度に基づいて、効率的・効果的な管理運営やサービスの充実を図るとともに、体育館の照明 LED 化改修工事など、安全、快適に利用できる環境の整備を行います。

③ドリームオーシャンスタジアム事業

(第2款 総務費 第12項 スポーツ推進費 2 スポーツ施設費)

予算額:(R5) 21,334千円 → (R6) 27,571千円

事業概要:指定管理者制度に基づいて、効率的・効果的な管理運営やサービスの充実を図るとともに、老朽化したグラウンド整備機器を更新し、安全、快適に利用できる環境の整備を行います。

④県営ライフル射撃場事業

(第2款 総務費 第12項 スポーツ推進費 2 スポーツ施設費)

予算額:(R5) 21,377千円 → (R6) 24,366千円

事業概要:指定管理者制度に基づいて、効率的・効果的な管理運営やサービスの充実を図るとともに、多機能トイレ整備工事など、安全、快適に利用できる環境の整備を行います。

## 施策 16-3 地域スポーツと障がい者スポーツの推進

(主担当部局：地域連携・交通部スポーツ推進局)

### 施策の目標

(めざす姿)

地域の活性化をはじめ、県民の健康増進などさまざまなスポーツの価値が発揮されるよう、三重とこわか国体・三重とこわか大会のレガシーを生かした大規模大会等の誘致・開催、スポーツを「する」、「みる」、「支える」機会の充実などに向けた取組が進んでいます。

また、障がい者スポーツにさまざまな形で関わる人が増え、障がい者スポーツの裾野の拡大が進むよう、障がい者が身近な地域で日常的にスポーツに参加できる環境づくりなどが進んでいます。

### 1. 基本事業の取組状況

基本事業名

・令和5年度の主な取組

#### ① スポーツを通じた地域の活性化

- ・「レガシーを活用したみえのスポーツ支援事業補助金」により、国際大会・全国大会の開催をはじめとする事業を支援し、スポーツを通じた地域の活性化を図っています。
- ・三重県スポーツ推進委員研修会兼研究大会や初任者研修会等の開催を通じ、スポーツ推進委員の資質の向上を図っています。
- ・クラブアドバイザーによるクラブ訪問や研修会等の開催を通じ、総合型地域スポーツクラブの質的充実を図っています。

#### ② スポーツへの参画機会の拡充

- ・「みえのスポーツフォーラム」において、トップアスリートによるトークセッションや、ボッチャなどのスポーツ体験会を実施し、約 300 名の参加がありました。(9月2日開催)
- ・すべての人びとがスポーツ・レクリエーション活動を楽しめる「みえスポーツフェスティバル 2023」を開催しています。(9月、10月を中心に計 60 種目開催)
- ・「第17回美し国三重市町対抗駅伝」を開催し、スポーツを通じた県民の一体感の醸成やジュニア選手の発掘・育成につなげます。(2月18日開催予定)

#### ③ 障がい者スポーツの裾野の拡大

- ・障がい者スポーツの普及を図るため、県障がい者スポーツ大会(フライングディスク)やふれあいスポレク祭を開催し、合わせて 1,391 人の参加がありました。また、陸上競技など5競技の同大会についても、多くの方に参加いただけるよう取組を進めています。
- ・競技団体の活動費用の補助を行い、選手や競技団体の育成支援に取り組むとともに、競技別の初心者講習会を開催し、選手の発掘を進めています。
- ・三重県障がい者スポーツ支援センターにおいて、障がい者をはじめとする県民や企業からの相談へのワンストップでの対応や、SNSを通じた情報発信、企業とのマッチングに向けた約 500 社へのアンケート調査等を通じて障がい者スポーツの裾野の拡大に向けて取組を進めています。
- ・総合型地域スポーツクラブと連携したスポーツ体験事業を実施し、障がいのある方が身近な地域でスポーツにふれることのできる環境整備を進めています。

2. KPI (重要業績評価指標) の状況							
KPIの項目						関連する基本事業	
令和3年度	4年度	5年度		6年度	7年度	8年度	5年度の 評価
現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	
三重とこわか国体・三重とこわか大会のレガシーを活用し、スポーツを通じたまちづくりに取り組んだ件数(累計)						①	
—	12件	24件	—	42件	—	90件	—
0件	16件	—	—	—	—	—	—
県内スポーツイベント等への参加者数						②	
—	89,000人	144,000人	—	198,000人	—	204,000人	—
34,956人	97,706人	—	—	—	—	—	—
県が主催する障がい者スポーツ大会等への参加者数						③	
—	3,880人	3,960人	—	4,040人	—	4,200人	—
3,800人 (平成30 年度)	1,880人	—	—	—	—	—	—
初心者講習会に参加した障がい者の人数						③	
—	214人	238人	—	262人	—	310人	—
190人	129人	—	—	—	—	—	—

3. 令和6年度の課題と取組方向
基本事業名 ・令和6年度以降に残された課題と対応
① スポーツを通じた地域の活性化 ・大規模大会の誘致・開催だけでなく、三重とこわか国体・三重とこわか大会の開催競技に関わるスポーツイベントの開催等も含め、引き続き、市町や競技団体の取組を支援していきます。 ・スポーツ推進委員や総合型地域スポーツクラブをはじめとする地域スポーツの担い手の養成・資質向上に取り組んでいきます。特に総合型地域スポーツクラブについては、中学校部活動の地域移行の受け皿の一つとされていることもふまえ、取組を強化します。
② スポーツへの参画機会の拡充 ・令和5年3月に策定した「第3次三重県スポーツ推進計画」に基づき、県民の皆さんがスポーツにふれ親しむ機会の拡充に取り組んでいきます。
③ 障がい者スポーツの裾野の拡大 ・障がい者の自立と社会参加を推進するため、県障がい者スポーツ大会や、初心者講習会等の開催など選手や競技団体の育成支援に取り組めます。 ・障がい者スポーツの裾野の拡大に向け、三重県障がい者スポーツ支援センターを拠点に、相談支援や情報発信、企業と競技団体とのマッチングなど障がい者スポーツを「する」「みる」「支える」人を増やす取組を進めます。

## 4. 主な事業

### 地域連携・交通部

#### 《（１）スポーツを通じた地域の活性化》

##### ①（一部新）地域スポーツ推進事業

（第2款 総務費 第12項 スポーツ推進費 1 スポーツ推進費）

予算額：(R5) 47,773千円 → (R6) 61,170千円

事業概要：スポーツ推進月間(9、10月)のキックオフイベントとして、「みえのスポーツフォーラム」を開催します。また、総合型地域スポーツクラブの質的充実のため、専属のクラブアドバイザーを設置するとともに、体験会や地区別研修会を開催し、中学校部活動の地域連携・地域移行の促進を図ります。

##### ②レガシーを活用したみえのスポーツ支援事業

（第2款 総務費 第12項 スポーツ推進費 1 スポーツ推進費）

予算額：(R5) 130,000千円 → (R6) 100,000千円

事業概要：「レガシーを活用したみえのスポーツ支援事業補助金」により、市町・競技団体等が実施する国際大会・全国大会等の大規模大会の開催やトップチーム等の合宿誘致、スポーツ教室の開催等に必要な費用を支援します。

#### 《（２）スポーツへの参画機会の拡充》

##### ①地域スポーツイベント開催事業

（第2款 総務費 第12項 スポーツ推進費 1 スポーツ推進費）

予算額：(R5) 16,088千円 → (R6) 16,088千円

事業概要：子どもから高齢者まで幅広い県民の皆さんにさまざまなスポーツの場を提供するため、スポーツ推進月間を中心に、(一社)三重県レクリエーション協会や各競技団体等と連携して「みえスポーツフェスティバル」を県内各地域で開催します。また、ジュニア世代の発掘・育成や市町相互の交流・連携を図るため、市町等と連携し「第18回美し国三重市町対抗駅伝」を開催します。

### 子ども・福祉部

#### 《（３）障がい者スポーツの裾野の拡大》

##### ①障がい者スポーツ推進事業

（第3款 民生費 第1項 社会福祉費 2 障がい者福祉費）

予算額：(R5) 57,567千円 → (R6) 59,214千円

事業概要：「三重県障がい者スポーツ支援センター」において、障がい者をはじめとする県民や企業等からの相談へのワンストップでの対応や、SNS等を通じた情報発信、障がい者スポーツ団体と企業等のニーズのマッチングを進めます。また、総合型地域スポーツクラブとの連携によるスポーツ体験などを行うとともに、選手の発掘に向けた初心者講習会や指導員の養成研修の実施、競技団体の遠征費の補助等を行います。



(4) 令和6年度新規事業一覧(一般会計)(地域連携・交通部関係)

各記号の意味は、以下のとおりです。

「※」…一部新規を含むもの(事業費は新規分のみを計上)

「☆」…市町予算と関係があると考えられるもの

「◆」…令和6年度重点施策枠のもの(継続分は除く)

「□」…県民提案をふまえたもの

(単位:千円)

番号	施策	細事業名称	事業概要(新規・一部新規の事業部分のみ)	事業費	一部新規	市町関連	重点施策	県民提案
9	9-1	特定振興地域推進事業費	宮川の流量回復について、宮川ダム直下から三瀬谷ダム間において、関係者から要望がある藻類の繁茂などの河川環境について調査を行うとともに、関係者等との意見交換を継続しながら、より良い状況に向けて取り組みます。	18,000	※			
10	9-1	地域活性化支援事業費	過疎地域等において、市町職員や集落支援員が住民主体の持続可能な地域づくりの手法を学ぶ研修や、地域課題解決に向けたアドバイザー派遣を実施します。	606	※			
11	9-1	地域おこし協力隊サポート事業費	協力隊のOB、OGによる中間支援組織が、「募集・受入時」、「任期中」、「退任後」のそれぞれの段階で隊員や市町をサポートできるよう、市町の伴走支援や隊員間のネットワークづくり事業を通じた支援、隊員の定住・定着に向けた相談員の育成に取り組みます。	7,000	※		◆	
12	9-2	ええとこやんか三重移住促進事業費	移住交流ポータルサイトの機能向上を図るとともに、大都市圏に在住の転職検討者等を新たな対象とする相談会を開催します。また、企業と連携し、一次産業や観光業など三重県ならではのしごと体験や移住お試し住宅等の利用・見学、地域づくりの現場体験などが行えるツアーを実施します。	25,890	※		◆	
13	9-3	南部地域活性化基金積立金	南部地域の振興に向け、複数市町が連携して取り組む事業を支援するとともに、関係部局と連携した若者の定着等に資する事業を実施するため、基金に積み立てを行います。	45,200	※	☆		
14	9-3	輝くまちのロールモデル発信事業費	南部地域の小中学生、高校生が連携して地域で活躍している方々の紹介動画を作成し、都市部で開催する南部地域を知るセミナーで活用するとともに、南部地域でのワークショップも開催し、県外の方が地域で活躍している方々と交流する機会を作ります。	9,822			◆	
15	9-3	南部地域における持続可能な第一次産業をめざして事業費	南部地域における副業のあり方を確立するため、第一次産業のワンデイワークの仕組みづくりに取り組むとともに、副業としての農林水産業を促進している先進地調査を実施します。また、飲食店の料理人、百貨店のバイヤー等に向けて、南部地域の特産品プロモーションを行います。	14,320			◆	
16	9-3	南部の地域づくり連携推進事業費	南部地域振興プランにおけるめざす姿の実現に向けて、地域の活性化に資する取組を関係部局と連携して進めます。	2,250		☆		

番号	施策	細事業名称	事業概要(新規・一部新規の事業部分のみ)	事業費	一部新規	市町関連	重点施策	県民提案
17	9-3	多様な人材が集う「賑わい」の維持・創出事業費	企業向けに、地域の祭や農作業等の体験ツアー等を実施し、地域の魅力や課題を知る機会を提供するとともに、地域で活躍する人々が取組発表や意見交換を行う連続講座を開催し、地域や世代の垣根を超えたネットワークを形成します。	10,959			◆	
18	9-4	熊野古道世界遺産登録20周年事業費	熊野古道世界遺産登録20周年という節目の年に、伊勢路への来訪促進を図るため、市町、関係団体や奈良県・和歌山県等と連携して、伊勢路のイベントやプロモーションを切れ目なく組み合わせて実施するとともに、利用者の利便性向上や情報提供機能の強化を図るため、生成AIを活用した情報発信を行います。また、熊野古道伊勢路ルートが搭載された山歩きアプリを活用したキャンペーンを実施します。	40,600			◆	
19	9-4	熊野古道伊勢路受入インフラ整備事業費	熊野古道伊勢路周辺の宿泊施設の外国人対応力強化等の受入環境を整備し、宿泊施設、飲食施設等を一体的に案内するWebサイトを構築するとともに、沿道の環境整備を合わせて実施し、古道を安全・快適に歩ける環境を整備します。	41,500		☆	◆	
20	11-2	地域における移動手段の確保に向けた総合対策事業費	交通不便地域等における高齢者や若者の移動手段を確保するため、地域における公共交通の実情やニーズの把握に努めるとともに、市町や事業者によるデマンド交通、自動運転の導入など移動手段の確保に向けた実証運行や定着を図る取組等を支援します。	128,930	※	☆	◆	
21	11-2	鉄道活性化促進事業費	JR関西本線の維持・活性化のため、県、亀山市、伊賀市とJR西日本で構成する「関西本線活性化利用促進三重県会議」において、沿線府県やJR東海とも連携して、大都市と沿線地域を結ぶ列車の実証運行の検討など、利用促進や利便性の向上に向けて取組を進めます。	22,000	※	☆	◆	
22	11-2	リニア中央新幹線関係費	現在策定中の「三重県リニア基本戦略(仮称)」をふまえ、より具体的な施策や事業に取り組むため、「みえリニア戦略プラン(仮称)」の策定に着手します。	20,447	※		◆	
23	16-3	地域スポーツ推進事業費	総合型地域スポーツクラブの質的充実のため、専属のクラブアドバイザーを設置するとともに、体験会や地区別研修会を開催し、中学校部活動の地域連携・地域移行の促進を図ります。	13,177	※			
24	行政委員会	明るい選挙推進費	選挙、投票参加に対する意識醸成を図るため、小学生、中学生、高校生、大学生等・20歳(旧新成人)それぞれの読み手に合わせた内容でリーフレットを作成します。	5,122	※			□
地域連携・交通部 計				405,823				

(5) 令和6年度重点施策幹事業一覧表(地域連携・交通部関係)

(1) 子どもたちの輝く未来の実現・・・該当なし

(2) 実効性のある人口減少対策の推進

(単位:千円)

施策	細事業名	事業概要	事業費
9-1	地域おこし協力隊サポート事業費	協力隊のOB、OGによる中間支援組織が、「募集・受入時」、「任期中」、「退任後」のそれぞれの段階で隊員や市町をサポートできるよう、市町の伴走支援や隊員間のネットワークづくり事業を通じた支援、隊員の定住・定着に向けた相談員の育成に取り組みます。	7,000
9-2	ええとこやんか三重移住促進事業費	「ええとこやんか三重 移住相談センター」を中心にきめ細かな相談対応を行います。また、関西圏・中京圏での県独自フェアの開催や全国フェアへの出展等を行うとともに、移住交流ポータルサイトの機能向上やマスメディアの活用など、市町や企業・団体と連携しながら情報発信を強化します。加えて、Facebookグループ「日々三重」を通じて、県内地域の魅力や暮らしやすさなどを積極的に情報発信するとともに、地域の方々と直接つながりが持てるよう交流会を実施し、移住に繋がります。	49,205
9-3	輝くまちのロールモデル発信事業費	南部地域の小中学生、高校生が連携して地域で活躍している方々の紹介動画を作成し、都市部で開催する南部地域を知るセミナーで活用するとともに、南部地域でのワークショップも開催し、県外の方が地域で活躍している方々と交流する機会を作ります。	9,822
9-3	南部地域における持続可能な第一次産業をめざして事業費	南部地域における副業のあり方を確立するため、第一次産業のワンデイワークの仕組みづくりに取り組むとともに、副業としての農林水産業を促進している先進地調査を実施します。また、飲食店の料理人、百貨店のバイヤー等に向けて、南部地域の特産品プロモーションを行います。	14,320
9-3	多様な人材が集う「賑わい」の維持・創出事業費	企業向けに、地域の祭や農作業等の体験ツアー等を実施し、地域の魅力や課題を知る機会を提供するとともに、地域で活躍する人々が取組発表や意見交換を行う連続講座を開催し、地域や世代の垣根を超えたネットワークを形成します。	10,959
11-2	地域における移動手段の確保に向けた総合対策事業費	交通不便地域等における高齢者や若者の移動手段を確保するため、地域における公共交通の実情やニーズの把握に努めるとともに、市町や事業者によるデマンド交通、自動運転の導入など移動手段の確保に向けた実証運行や定着を図る取組等を支援します。	79,900
11-2	鉄道活性化促進事業費	JR関西本線の維持・活性化のため、県、亀山市、伊賀市とJR西日本で構成する「関西本線活性化利用促進三重県会議」において、沿線府県やJR東海とも連携して、大都市と沿線地域を結ぶ列車の実証運行の検討など、利用促進や利便性の向上に向けて取組を進めます。	22,000
11-2	リニア中央新幹線関係費	名古屋・大阪間のルート・駅位置の早期確定に向け、沿線自治体等と連携して要望活動を行うとともに、現在策定中の「三重県リニア基本戦略(仮称)」をふまえ、より具体的な施策や事業に取り組むため、「みえリニア戦略プラン(仮称)」の策定に着手します。	27,841
小 計			221,047

(3) 時代の変化と潮流を捉えた産業振興・・・該当なし

## (4) 観光振興と三重の魅力のプロモーション

(単位:千円)

施策	細事業名	事業概要	事業費
9-4	熊野古道世界遺産登録20周年事業費	熊野古道世界遺産登録20周年という節目の年に、伊勢路への来訪促進を図るため、市町、関係団体や奈良県・和歌山県等と連携して、伊勢路のイベントやプロモーションを切れ目なく組み合わせて実施するとともに、利用者の利便性向上や情報提供機能の強化を図るため、生成AIを活用した情報発信を行います。また、熊野古道伊勢路ルートが搭載された山歩きアプリを活用したキャンペーンを実施します。	40,600
9-4	熊野古道伊勢路受入インフラ整備事業費	熊野古道伊勢路周辺の宿泊施設の外国人対応力強化等の受入環境を整備し、宿泊施設、飲食施設等を一元的に案内するWebサイトを構築するとともに、沿道の実環境整備を合わせて実施し、古道を安全・快適に歩ける環境を整備します。	41,500
小 計			82,100

(5)いのちを守り、暮らしを支える…該当なし

(6)その他…該当なし

令和6年度重点施策枠 合計	303,147
---------------	---------

(6) 令和6年度大規模臨時的経費事業一覧(主なもの) (地域連携・交通部関係)

(単位:千円)

番号	細事業名	事業費
<b>I ア法令義務・債務負担行為</b>		
1	離島航路船舶新造事業補助金(鳥羽市への船舶建造費補助)	38,500
I ア法令義務・債務負担行為 計		38,500
<b>I イ施設改修</b>		
2	鉄道利便性・安全性確保等対策事業費(鉄道軌道安全輸送設備等整備事業費補助金等)	151,257
3	三重交通Gスポーツの杜鈴鹿事業費(庭球場の空調熱源設備更新等)	313,404
4	三重交通Gスポーツの杜伊勢事業費(体育館の照明LED化改修等)	183,866
5	県営ライフル射撃場事業費(多機能トイレ整備工事等)	19,803
6	新三重武道館整備費補助金(津市への建設費補助)	20,251
I イ施設改修 計		688,581
<b>II 情報システム</b>		
II 情報システム 計		0
<b>III ア その他(継続)</b>		
2	木曾岬干拓地整備事業費	130,657
3	地籍調査費負担金	221,733
4	地域交通体系整備基金積立金	216,908
5	レガシーを活用したみえのスポーツ支援事業費(市町・競技団体等が実施する国際大会・全国大会、競技を普及させるスポーツイベントなどの開催等への支援)	100,000
6	競技力向上対策事業費	511,222
7	国民スポーツ大会派遣事業費	117,623
III ア その他(継続) 計		1,298,143
<b>III イ その他(新規)</b>		
1	特定振興地域推進事業費(宮川上流域河川環境改善検討業務委託)	18,000
2	地域における移動手段の確保に向けた総合対策事業費(交通不便地域における移動手段の確保に向けた取組等に対する補助金)	50,000
3	南部地域活性化基金積立金	45,200
III イ その他(新規) 計		113,200
合計		2,138,424

○参考「大規模臨時的経費として要求する事業の分類区分」

I 義務的度合が高いもの

- ア 法令で義務づけられた経費、及び債務負担行為が設定済みかつ契約済みの経費
- イ ア以外で、県有施設の老朽化等に伴う大規模改修・修繕工事にかかる経費

II Iより義務的度合は低い、客観的な基準により真にやむを得ないと判断できるもの

- 情報システムにかかる保守期限の到来等に伴う改修経費

III その他の事業

(7) 事業の見直し一覧 (地域連携・交通部関係)

	事業本数	増減額(千円)
廃止事業	4	-92,770
リフォーム	1	28,101
休止事業	2	-856,072
合計	7	-920,741

(注) 調書の各記号の意味は、以下のとおりです。  
 「◇」…令和5年度重点施策枠のもの  
 「□」…令和6年度重点施策枠のもの  
 「◎」…市町予算と関係があると考えられるもの  
 「▲」…いわゆる「当然減」によるもの  
 「△」…リフォーム事業のうちリフォームにより事業本数が減少するもの

(単位：千円)

番号	細事業名	区分			令和5年度	令和6年度	差引	説明
		廃止	リ フ ォ ー ム	休止	当初予算額A	当初要求額B	B-A	
◇□◎▲△	3 地方拠点都市地域振興事業費	1			23,235	0	-23,235	「三重県立ゆめドームうえの」の民間譲渡に伴い事業を廃止します。
	4 豊かな自然の中で安心して楽しめる南部地域魅力発信事業費	1			54,226	0	-54,226	事業の目的を達成したため、廃止します。
◇	5 東紀州地域ランニング人口誘致調査事業費	1			9,809	0	-9,809	事業の目的を達成したため、廃止します。
◇	6 サイクリング観光推進事業費	1			5,500	0	-5,500	事業の目的を達成したため、廃止します。
◇□	7 熊野古道世界遺産登録20周年事業費 (旧 熊野古道伊勢路「歩き旅」ブランディング事業費)		1		12,499	40,600	28,101	事業をより効率的に実施するため、R6年度に限り、熊野古道世界遺産登録20周年事業費において実施します。
▲	8 指定管理者選定事業費			1	489	0	-489	指定管理者の選定が終了したことにより休止します。
◎▲	9 県議会議員選挙費			1	855,583	0	-855,583	令和5年4月に三重県議会議員選挙を執行したことにより休止します。
	合計	4	1	2	961,341	40,600	-920,741	